

- 1 **主題名** ともだちをおもうところ (B 友情, 信頼)
教材名 「二わのことり」 出典「新訂 新しい道徳1」(東京書籍)

2 主題設定の理由

- 本学級の子どもたちは、学校生活に慣れ、自分から友達に話しかけたり、一緒に遊んだり、友達と仲良く生活したいという思いをもつことができるようになってきている。また、友達が泣いていると心配して声をかけたり困っていることに気付くと進んで手助けしたりできるようになってきている。しかし一方では、自分の興味や友達の行動に流されてしまうなど、自分の思いが先行し、友達の立場を理解したり、自分と異なる考えを受け入れたり、友達を大切にすることが難しい様子も見られる。そこで、友達の輪が広がり、自分の思いだけでなく友達の思いを考え、仲よく活動することの大切さに気付くことができるようになるこの期に本主題を取り上げる。そして、自分自身との関わりで、友達のよさを感じることができるようになりたい。
- 友情とは、人間の情愛のことであり、信頼を基盤に抱く、相手を大切にしたいと思う心のはたらきのことである。信頼とは、お互いに相手のことを理解し、相手の言動を疑わず、信じて頼りにすることである。よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育んでいくことができるように指導することが大切である。本主題に関しては、第1学年前期に主題名「ともだちっていいな」において、誰とでも仲よくするとみんなが楽しくなるという友達のよさについて学習してきている。本主題では、これらの上に立って、友達のことを思いやって行動することで友達が喜んでくれるだけでなく自分自身も友達を大切にできた喜びを感じることができるようになることに気付かせ、これからも友達と仲よくしようとする心情を育てたい。これは、中学年の友達と互いに理解し、信頼し、助け合う学習や高学年の友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていく学習へと発展していく。
- 本主題の指導にあたっては、友達の立場に立って心配したり友達が喜ぶことを考えたりして、相手の気持ちを考えて行動しようすると、友達も自分も嬉しくなることがわかり、友達と仲よくしようとする心情を育てることをねらいとしている。そのために、教材として「二わのことり」を取り上げる。本教材は、主人公のみそさざいがやまがらの誕生会に招待されたのに、他の鳥たちと一緒にうぐいすの家である音楽会の練習に行ってしまう。しかし、寂しい思いで待っているであろうやまがらのことを思い、うぐいすの家をそっと抜け出してやまがらの家へお祝いに行くという内容である。特に本時指導にあたって、まず「つかむ」段階で、事前アンケートの結果を提示し、友達と仲よくできる時とそうでない時があること、またその時の気持ちを想起させ、友達といつも仲よくすることは難しいという問題意識をもたせ、めあてをつかむことができるようにする。次に「見いだす」段階では、ひとりで寂しく誕生日を過ごすやまがらへの思いが大きくなるにつれて、放っておけなくなるみそさざいの気持ちを表情図と吹き出しに表出させて話し合わせる。そして、やまがらのもとに駆け付けた時のみそさざいとやまがらの役割演技を取り入れ、喜ぶやまがらを見てみそさざいも嬉しい気持ちになることを実感を持って理解できるようにしたい。さらに、みそさざいとやまがらの気持ちを表情図と児童のつぶやきから比較させ、友達ともっと仲よくなるために大切にしたい心について話し合わせる。「深める」段階では、教材を通して学んだことを振り返らせ、道徳的価値について考えることができるようにする。「ふり返る」段階では、生活場面の写真やアンケートの事例をもとに、友達のことを思って行動したことや友達からされて嬉しかったことについて話し合い、友達のことを考えて行動し、もっと仲よくしようとする思いをもつことができるようにする。

3 計画





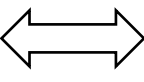


- 事前 アンケートをもとに、友達に関わる自分の経験を想起させる。
 本時 教材「二わのことり」をもとに、友達と仲よくするために大切な心について話し合わせる。
 事後 帰りの会において、友達を思って活動して嬉しかったことを紹介し合い、実践意欲を高める。

4 ねらい

- 友達の立場に立って心配したり友達が喜ぶことを考えたりして、相手の気持ちを考えて行動しようすると、友達も自分も嬉しくなることがわかり、友達と仲よくしようとする心情を育てる。
- やまがらの思いに心を寄せるみそさざいの気持ちを、表情図や吹き出し、役割演技をもとにした対話活動で明らかにし、友達と仲よくすることの大切さを追求できるようにする。

5 準備 アンケート結果 道徳ノート お面 表情図カード ペープサート 電子黒板 挿絵

6 展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|------|--|--|
| つかむ | <p>1 「友達」に関する事前アンケートの結果をもとに、本時のめあてについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><友達と仲よくできたとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木を拾うのを手伝った。 ・一輪車の乗り方を教えてもらった。 ・一緒に遊んで楽しかった。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><友達と仲よくできなかったとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランコを代われなかった。 ・走って先に並んでしまった。 ・困っていた人を手伝えばよかった。 </div> </div> <p style="text-align: center;">←→</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ともだちと もっと なかよくなる ために たいせつな ところを見つけよう。</p> </div> | <p>○ 主題に対する問題意識をもたせながらめあてをつかませるために、アンケート結果を提示し、友達と仲よくできた時とできなかった時を比較させ自分の生活を想起させる。</p> |
| 見いだす | <p>2 教材「二羽のこどり」をもとに、みそさざいとやまがらの気持ちや行動について話し合い、友達と仲よくするために大切な心について明らかにする。</p> <p>○ うぐいすの家で歌の練習をしている時のみそさざいの気持ちを表情図と吹き出しをもとに考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>うぐいすの家で歌の練習をしている時、みそさざいはどんなことを考えているでしょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらの家が遠くても、お祝いに行けば良かったかな。 ・やまがらは、ひとりで待っているだろう。寂しいだろうな。 ・誰もお誕生日のお祝いに行かないから、泣いているかもしれない。だから、今すぐやまがらのところへ行こう。 </div> <div style="text-align: right;">   </div> </div> <p>○ やまがらと会えた時のみそさざいの気持ちを表情図と役割演技をもとに考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>みそさざいは、やまがらと会って、どんなお話をしたでしょう。喜ぶやまがらを見て、みそさざいはどんなことを思ったでしょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><やまがらの気持ち></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来てくれてありがとう。 ・だれも来てくれないかと思ったよ。 ・待っていてよかったな。 ・ずっと寂しかったんだあ。 ・本当にうれしいよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><みそさざいの気持ち></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日おめでとう。遅くなってごめんね。 ・やまがらさん、ひとりにしてしまっで、きっと寂しかったよね。 ・こんなに喜んでくれてうれしい。やっぱり来てよかったなあ。 </div> </div> | <p>○ 場面ごとの主人公の心情を把握させるために、電子黒板を活用し、紙芝居形式で教材を提示する。</p> <p>○ やまがらを思うみそさざいの気持ちを共感的に理解させるために、やまがらの家へ向かうかどうか葛藤するみそさざいの気持ちを表情図や吹き出しを活用し話し合わせる。</p> <p>○ 喜ぶやまがらを見て、みそさざいも嬉しい気持ちになることを実感を伴って理解させるために、表情図と役割演技を取り入れたり、みそさざいの気持ちを問う発問をしたりする。</p> |
| 深める | <p>○ 友達ともっと仲よくなるための大切な心を見つめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>二羽の顔を比べてみましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;">      </div> <p>3 よりよく生きるための「生き方のヒント」として、道徳的価値について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ともだちも じぶんも うれしくなることを しようとする ところ。</p> </div> | <p>○ ねらいとする価値に迫らせるために、表情図と児童のつぶやきから両者の気持ちを比較させる。</p> <p>○ 「生き方のヒント」を考えさせるために、教材から学んだことを振り返らせる。</p> |
| ふり返る | <p>4 本時学習を振り返り、今までの友達と自分との生活やこれからの生き方について考え、実践への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達にやさしくしたら、「ありがとう。」っていってくれて、友達も自分も嬉しくなって、もっと仲よくなった。これからは、友達が困っていたら教えたり、「代わって。」と言われたら代わってあげたりして、いつも仲よくしたい。 ・ひとりぼっちの友達がいても誘ってなかったけど、誘ってみたいと思う。もっとみんなと仲よくなりたい。 ・泣いていた時「どうしたの。だいじょうぶ。」と心配してくれて嬉しかった。今度は、私も友達が泣いているとき、優しくして励ましてあげたい。 | <p>○ これまでの自己の生活を見つめることができるようにするために、生活場面の写真やアンケートの事例をもとに、振り返らせる。</p> <p>○ 友達と仲よくしようとする意欲を引き出すために、自分が友達のことを考えて行動したときの気持ちや友達からされて嬉しかったことを交流させる。</p> |